

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		単位老人クラブ活動支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	高齢者支援課	担当者名	佐藤里佳
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進			所属班	高齢者保険班	(内線)	2114
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	高齢者在宅福祉事業 合志市健康福祉補助金等交付要綱	
		1	3	1	4	10442		成果優先度評価結果	8
								コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	単位老人クラブが実施する社会奉仕活動、教養講座開催、健康増進事業を実施することにより、社会参加及び健康づくりを促進する。会員の増加を図る。 均等割:50,000円 人数割:1人当り500円×会員数 高齢者の社会参加と健康づくりを目的としてはじめた。 単位老人クラブの役員のなり手がなく、解散した老人クラブがある。 平成20年度より補助金の額を減額する。均等割:50,000円×クラブ数 人数割:1人当り500円×会員数
【業務の流れ】	事業計画書、収支予算書、交付申請書の受付、補助金決定、支払、事業実績書・収支決算書の審査
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	老人クラブの役員から、補助金の申請手続きが大変であるとの意見がある。 市は老人クラブを必要としているのかとの意見があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
会員の社会奉仕活動、教養講座開催、健康増進事業活動に対する補助	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
→ ア 社会奉仕活動日数	日
イ 教養講座開催日数	日
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
老人クラブ会員	→ ア 老人クラブに加入している高齢者数 人
→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
老人クラブの活動を支援する。	→ ア 事業が計画どおりできた老人クラブ数 件
→ イ	
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移				単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	日			660	660	660	660	660	660	660
	イ	日			550	550	550	550	550	550	550
⑤ 対象指標	ア	人			3700	3330	3900	3203	3950	3950	3950
	イ										
⑥ 成果指標	ア	件			41.8	55	55	46	55	55	55
	イ										
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円	1,260	1,260	1,260	1,260	1,260	1,260	
			地方債	千円							
			その他	千円							
			繰入金	千円							
			一般財源	千円	3,710	2,805	2,940	2,641	2,840	2,840	2,840
		(A) 事業費計	千円	4,970	4,065	4,200	3,901	4,100	4,100	4,100	
		(A)のうち指定経費	千円								
		(A)のうち時間外、特勤	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人		4	3	4	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間		79	58	79	52	52	52	52
		(B)人件費計	千円		314	232	314	207	207	207	207
トータルコスト(A)+(B)				千円		5,284	4,297	4,514	4,108	4,307	4,307

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

0

0

合志市

事務事業名	単位老人クラブ活動支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	---------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した	☒ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☐ 目標達成見込みあり ⇒【理由】	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】	☐ 向上余地がない ⇒【理由】 高齢者の社会参加と生きがいと健康づくりを続けていくことが必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】	☐ 削減余地がない ⇒【理由】 活動内容により、補助金の額を減額する措置を行うことで削減ができる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】	☐ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金の交付方法を工夫すれば業務時間を削減できる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 公平・公正である ⇒【理由】 法的根拠は公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 廃止
☐ 休止
☐ 目的再設定
☐ 事業統廃合・連携
☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
☐ 事業のやり方改善(効率性改善)
☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

補助金の交付を現金受け渡しから、合志市老人クラブへ一括口座振込に変更する。
役員のなり手がいない老人クラブの再結成を図る。
年齢対象になっても、老人クラブに加入しない高齢者への加入をいかに勧誘していくか。